

いのちの言の葉2015

富山県教育委員会平成27年度いのちの教育総合支援事業

「命の大切さ」

立山町立高野小学校4・5年

平成27年12月9日実施

【いのちの先生】

高田 恵子先生

・助産師

【授業の概要】

- 1 助産師とは
- 2 新生児人形に名前を付ける(グループ活動)
- 3 新生児人形を抱いてみる
- 4 胎児になって考えよう
- 5 まとめ(命の大切さについて)



＜児童の感想＞①

僕は命の大切さを知りました。命はたった一つしかありません。だから大切にしないといけないのです。赤ちゃんの人形を持ってみると、とても重かったです。僕は、本物だと思って、落とさないようにだっこしました。これからも命を大切に、家族や友達も大切にしたいです。

＜児童の感想＞②

命の勉強をして、私が産まれてきたこと、育ててもらえたことのありがたさを今度の誕生日に、お父さんとお母さんに伝えたいと思います。私が産まれるとき、お母さんは私を産むために頑張って、お父さんはお母さんを応援していたそうです。

私が赤ちゃんを産んで、お母さんになったときには、私のお母さんのように、子供をやさしく育てたいです。

＜児童の感想＞③

今まで育ててくれてありがとう。私は「いのちの授業」を受けて、ぼくを産むとき、そして産まれてからもどんなに大変だったか分かりました。お父さんとお母さんが大切に育ててくれた「自分」を大切に、一度きりしかない人生をよりよいものにしていきたいです。見守ってください。